

わんぱくだより

2014年4月



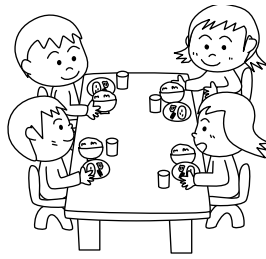
食事のマナー

「食事のマナー」とは、いったい何なのでしょう。なぜ、守らなければいけないのでしょうか。また、どんなことに気をつけるべきなのでしょう。フランス料理や中華料理を食べときの「マナー」ではなく、日々、生活する上での「食事のマナー」をテーマに今回は考えてみましょう。

1. マナーを習慣づけることが大切な理由

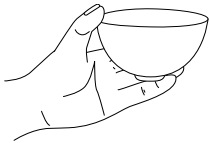
「マナーは特別な日にできるだけよい」とは、思っていますか。

マナーは、いっしょに食事をする人同士がお互いに気持ちよく食事をする事ができるための「心遣い」です。また、食事を口にするまでに携わってくれた人に対する「感謝のふるまい」でもあります。それらは、特別な日にあらわせば良いものではありません。常日頃から「心遣い」や「感謝のふるまい」を忘れてはいけません。また、「特別な日はできる」と思っても、そのときだけ、「日ごろの習慣」が治るとも考えがたいです。「日ごろの習慣」が間違っていると、正しいマナーが何なのか、分からなかったりもします。そういった意味でも、日ごろからマナーを守ることは大切です。

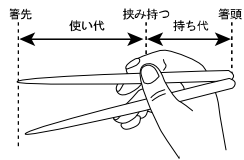


2. 持ち方のマナー

<器の持ち方>

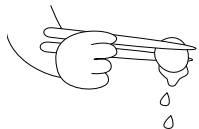


<はしの持ち方>

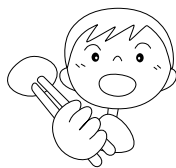


3. はしの良くない使い方

なみだばし



さしばし



ねぶりばし



込みばし



叩きばし



迷いばし



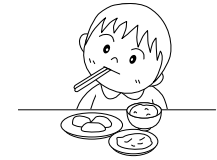
なめばし



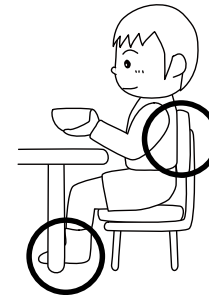
よせばし



くわえばし



4. 食べる時のマナー



正しい姿勢で食べていますか



あいさつはできていますか



犬食べ



ひじをつく



遊びながら食べる



片手で食べる



横を向いて食べる



音を立てながら食べる